

中高生・アフタースクールプログラム 学習の記録（8月3日）

オリエンテーション（10：00～11：00）

○開講式



国立科学博物館 近藤館長の臨席の上で
開講式を行いました。

○概要説明

- ・ 8月3日～22日は「学習・体験」、9月5日～10月24日は「展示企画・制作」、10月31日～12月12日は「発表」の活動を行います。
- ・ 制作する展示の概要
50センチ四方の亚克力ケースに入るもの（解説も含め）／実物資料をひとつ入れること／テーマを選んだ理由・工夫した点等まとめたパネルを作ること
- ・ 制作した展示は10月26日から地球館で展示されます。

○参加者自己紹介

名前／学校／学年／好きな食べ物／嫌いな食べ物／調べたいこと



嫌いなものには野菜や魚が多く
挙げられました。

【講義】 国立科学博物館の展示について（11：00～11：30）

○講師：国立科学博物館 学習企画・調整課 有田寛之先生
展示がどのように作られるのかを解説していただきました。



これから展示制作にあたっての注意事項

- ・伝えたい情報を整理するようにしましょう
- ・展示づくりはチームワークが重要！コミュニケーションをしっかりとろう

【アンケート】 食のイメージって！？（11：30～12：00）

学習活動に入る前に参加者が「食」についてどのようなイメージを持っているか調査しました。



【講義】 展示デザインについて（13：00～14：15）

○講師：日本大学芸術学部教授 木村政司先生

「分かりやすいデザインとは??」ということ、海外の事例（スイスの食物博物館、ベルンの自然史博物館）を交え解説していただきました。



「展示には意外感があると面白い」

【講義】 科博のコラム展示について（14：20～15：20）

○講師：国立科学博物館 学習企画・調整課 有田寛之先生

各班で日本館コラム展示を見学してきた上で、良いと思ったところを発表形式で紹介してもらいました。



【まとめ】 今日学んだこと（15：20～15：45）

ひとりずつ今日学んだことを発表してもらいました。